

労働力調査の季節調整値の 改定に関する報告

2022年4月

総務省統計局労働力人口統計室

1. 改定の概要

- 労働力調査の季節調整値は、毎年1月分結果の公表時に前年12か月分の結果を追加し、過去に遡って改定。
- 季節調整値の改定に当たり、主要系列※¹では、ARIMAモデルの更新とともに、必要に応じて外れ値を設定。

※1 全24系列：

(男女計、男性、女性) × (労働力人口、就業者、雇用者、正規、非正規、完全失業者、非労働力人口、完全失業率)

- 昨年の改定では、新型コロナウイルス感染症の影響を加味して、2020年4月のレベルシフトを中心に外れ値を設定（X-12によるoutlier機能でも自動検出）。今年は、いずれの系列においても、outlier機能による外れ値の自動検出はされず、動きを目視で確認しても大きな変動はなかった。



- 今回の改定においては、新たな外れ値は設定しない。

参考 外れ値の種類 (イメージ)

レベルシフト (LS)

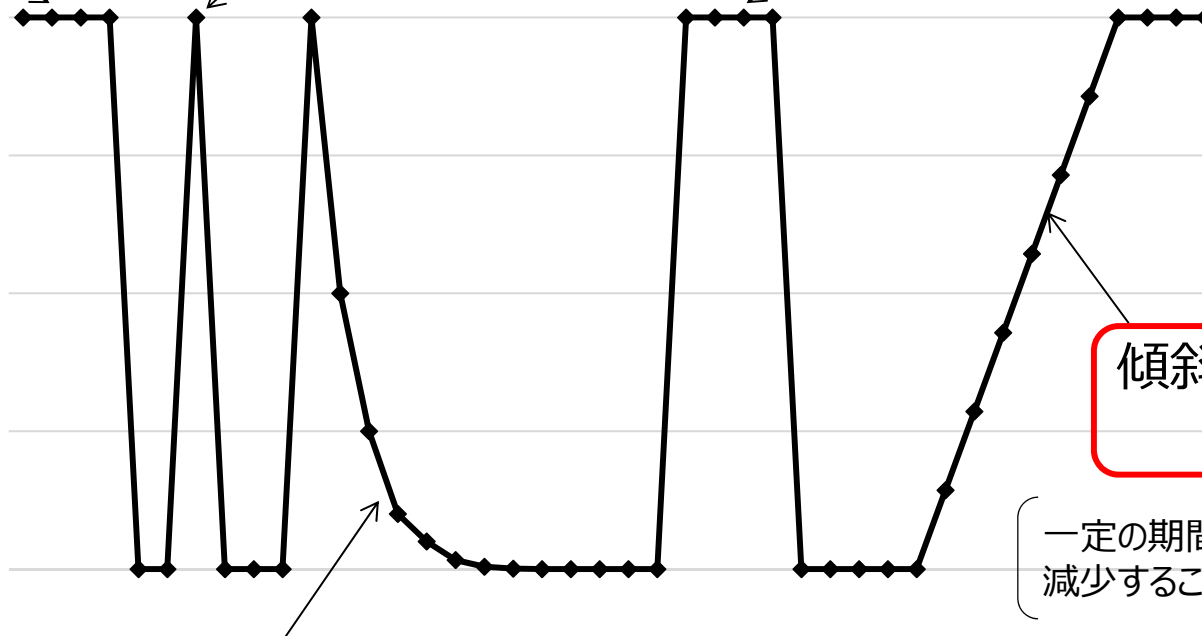
ある時点以降の全ての時系列に一定値の変動があることを表現

加法的な外れ値 (AO)

時系列の特定の一時点のみの変化を表現

一時的レベルシフト (TL)

ある時点以降に、一時的に、一定値の変動があることを表現



傾斜的水準変化 (RAMP)

一定の期間に線形的に増加又は減少することを表現

一時的変化 (TC)

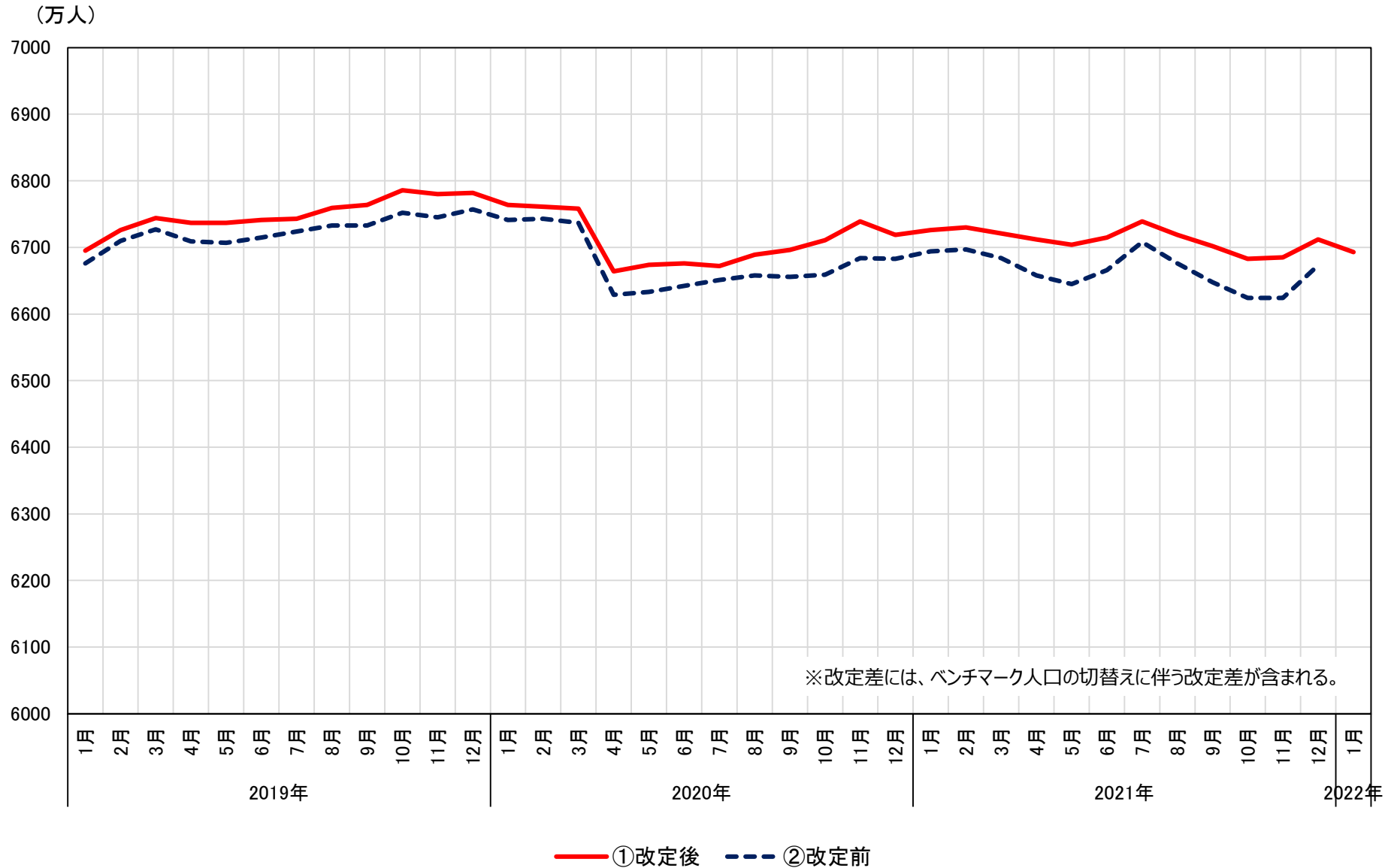
系列の水準が特定時点で変化した後、指数的に急速に元の水準に戻る状況を表現

2. 改定結果 主要系列のRegARIMAモデル一覧（変更箇所は赤字）

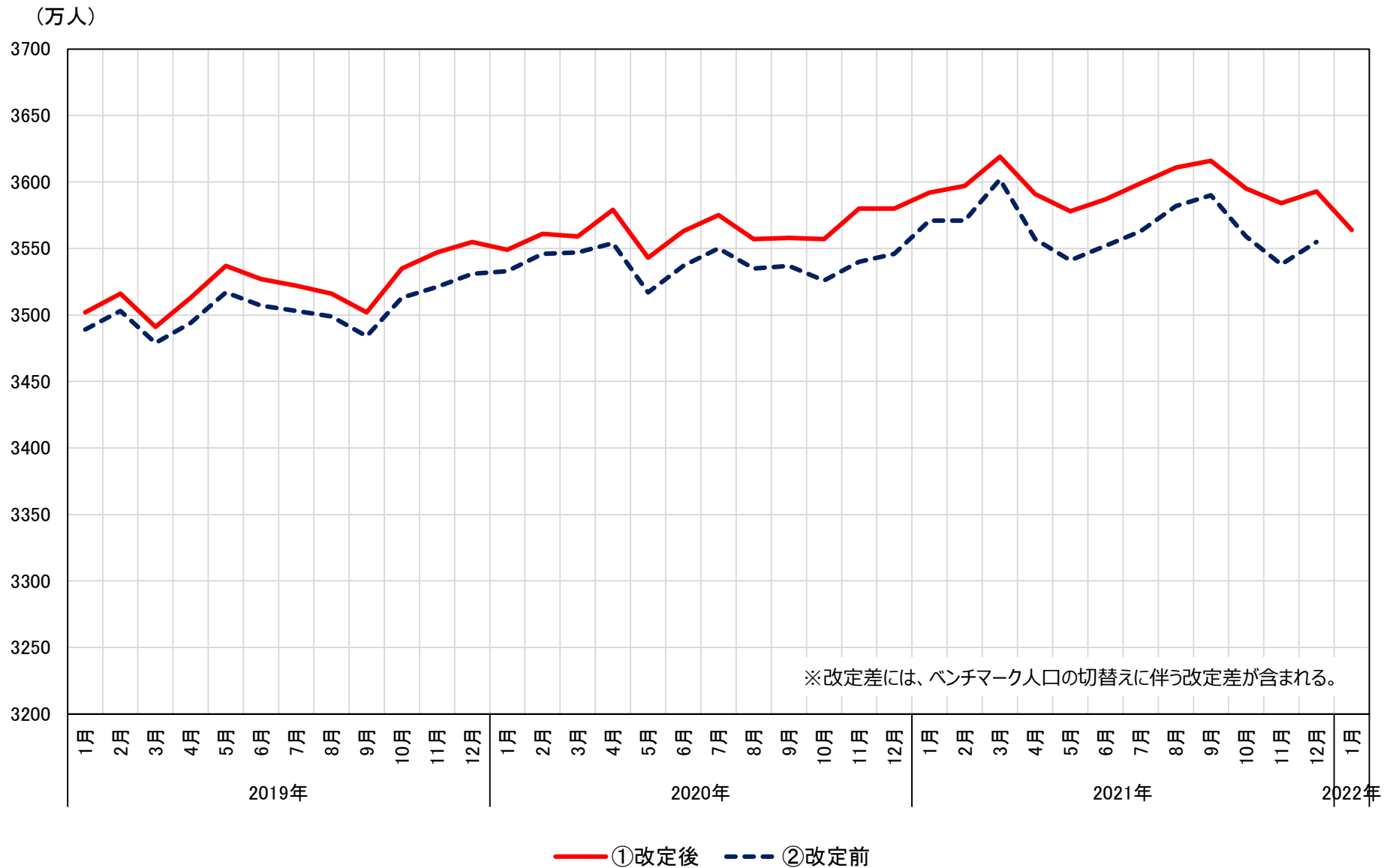
系列		ARIMAモデル	2020年の外れ値	2019年以前の外れ値
労働力人口	男女計	(211)(012)	LS2020.4	LS2011.3
	男	(012)(111)	TL2020.4-2020.6	
	女	(012)(012)	LS2020.4	LS2011.3
就業者	男女計	(111)(012)	LS2020.4	LS2009.3 LS2011.3
	男	(111)(012)	LS2020.4	LS2009.3
	女	(211)(012)	LS2020.4	LS2009.3
雇用者	男女計	(111)(012)	LS2020.4	LS2009.3 LS2011.3
	男	(012)(111)	LS2020.4	LS2009.3
	女	(012)(112)	LS2020.4	LS2009.3 LS2011.3
正規の職員・従業員	男女計	(012)(012)	－	
	男	(012)(012)	－	
	女	(211)(211)	－	
非正規の職員・従業員	男女計	(211)(111)	LS2020.4	
	男	(012)(111)	LS2020.4	
	女	(211)(012)	LS2020.4	
完全失業者	男女計	(210)(011)	RP2020.3-2020.10	RP2008.10-2009.7
	男	(210)(011)	RP2020.3-2020.10	RP2008.10-2009.7
	女	(012)(011)	RP2020.4-2020.8	RP2008.10-2009.3
非労働力人口 (=15歳以上人口 －労働力人口)	男女計	(012)(212)	LS2020.4	LS2011.3
	男	(012)(212)	TL2020.4-2020.6	
	女	(012)(012)	LS2020.4	LS2011.3
完全失業率	男女計	(210)(011)	RP2020.3-2020.10	RP2008.10-2009.7
	男	(210)(011)	RP2020.3-2020.10	RP2008.10-2009.7
	女	(012)(011)	RP2020.4-2020.8	RP2008.10-2009.3

※上記のARIMAモデルは、ベンチマーク人口切替え後の1992年11月～2021年10月のデータを用いてAICが最小となるモデルを選定

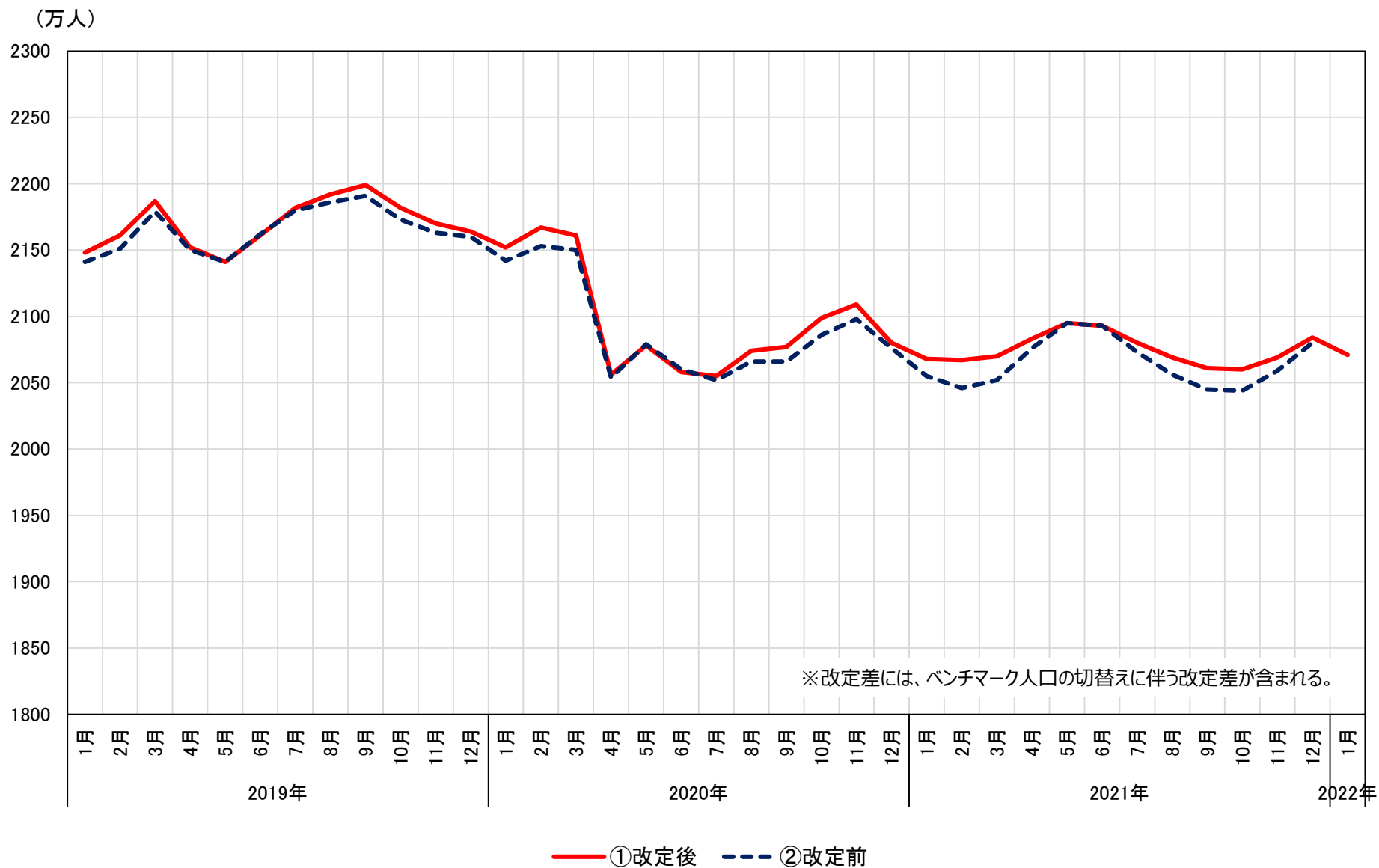
2. 改定結果 就業者（男女計、季節調整値）



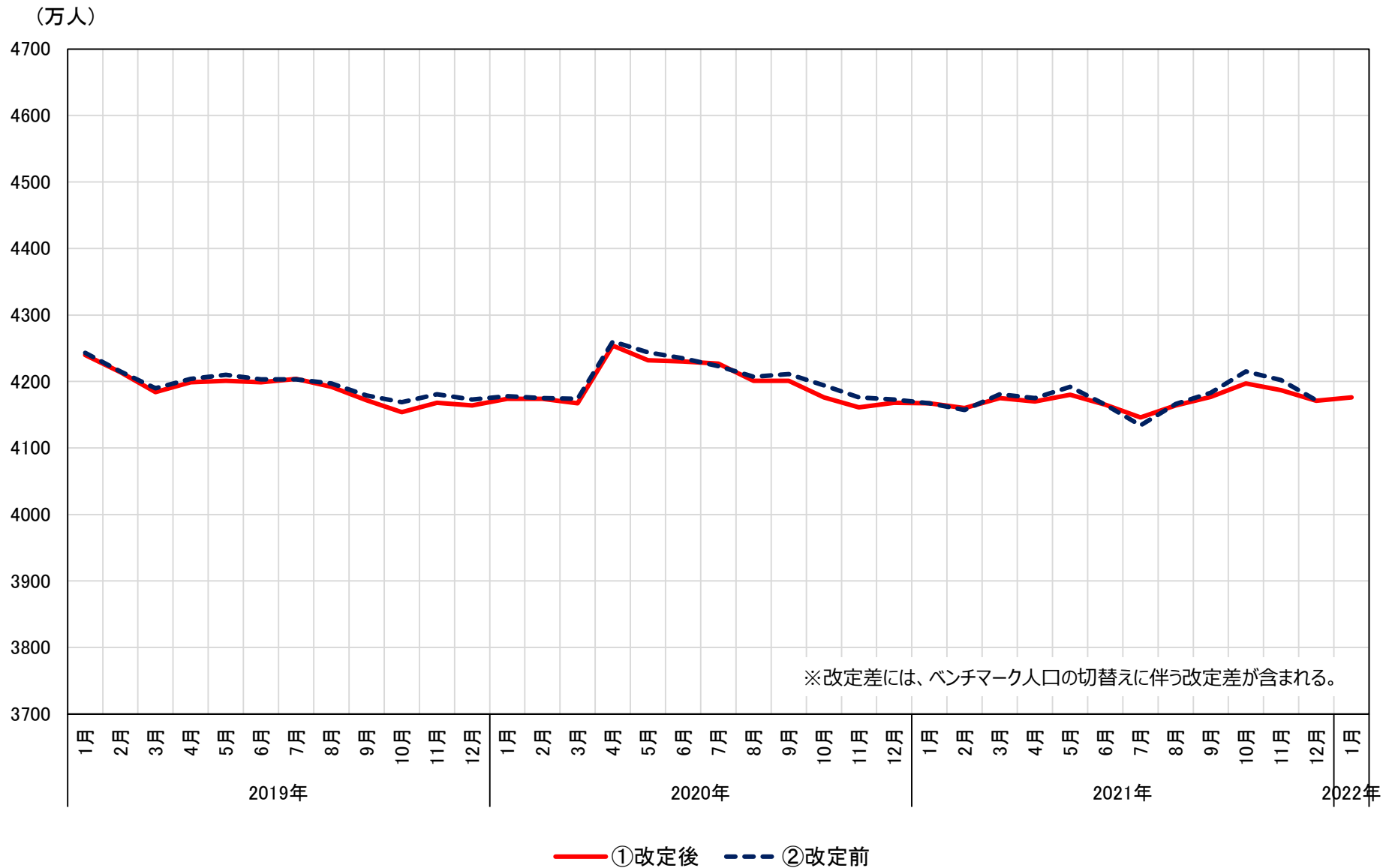
2. 改定結果 正規の職員・従業員（男女計、季節調整値）



2. 改定結果 非正規の職員・従業員（男女計、季節調整値）



2. 改定結果 非労働力人口（男女計、季節調整値）



2. 改定結果 完全失業率（男女計、季節調整値）

